

【資源開発部会】

1. 2020年度部会開催状況

第1回 7月6日(月) 第2回 8月4日(火) 第3回 9月1日(火)
第4回 10月6日(火) 第5回 11月4日(水) 第6回 12月15日(火)
第7回 1月12日(火) 第8回 2月9日(火)

2. 活動内容

① ニーズ調査・分析結果から明らかとなった課題の解決策について検討

最重要ニーズから「福祉情報の提供、周知」に焦点を当てて検討を行い、ポータルサイトの作成に着手。

アンケート結果で多く挙げた「相談先がわからない」「どこにどんなサービスがあるかわからない」という困りごとを解消する手立てのひとつとしたい。

※ポータルサイト＝利用者がインターネットに接続した時、一番初めにアクセスする、様々な情報やサービスを集めたウェブサイト

③ その他検討課題

【最重要ニーズ】

・ 福祉人材の確保、育成

ニーズがあっても人手や人材不足により応えられていない現状。特にヘルパーの不足が深刻。

【重要ニーズ】

・ 障がい者の就労機会の増加と職場環境の充実

当事者及びその家族は、就労に対する悩みや関心を強く持っている。

・ 障がい者への配慮や理解ある地域、社会

様々な場面で障がい者に対する理解や配慮が本質的に重要であり課題であることがわかる。

・ 相談支援体制、相談窓口の充実

相談窓口を把握していない人が多い。休日・夜間の相談体制が充実しているとは言い難い。

・ 災害対策

災害についての関心は高く、対策の遅れや情報が十分に周知できていないという課題がある。

① 作成に至る経緯及びその目的

「相談先がわからない」「どこにどんなサービスがあるかわからない」ことにより生じる需要と供給のミスマッチが多く発生している現状を受け、福祉情報の提供と周知の現状を調査。結果、各機関で必要な情報提供を行っているが、周知不足により市民に浸透していない・情報が更新されていない・必要な情報にたどり着くまでに時間がかかる等の課題が明らかとなった。

何らかの情報を得たいと思った時にすぐアクセスでき、必要な情報を簡単な操作により入手できる仕組みを作る事で、上記課題の解決のひとつとなることを目的としたい。

② 対象者

当事者や家族、関係者。作成にあたっては様々な特性に配慮し、音声読み上げソフトの導入や色覚異常への配慮等を行う。また、法律・専門用語等の難しい表現を避け、イラストや図式等を用いわかりやすく伝えることを目指す。

将来的には啓発を目的とした内容も盛り込み、対象者を広げたい。

③ 予算

資源開発部会予算をレンタルサーバーの契約やドメイン取得費用として使用。ポータルサイト作成後の2022年度以降における保守管理や情報の更新は、運用に掛かる必要経費を基幹相談支援センターの委託費として組み込み、基幹相談支援センターに依頼する。

④ 作成の手段

無料のサイト作成ソフト（Wordpress）を使い、プロトタイプを部会員で作成。ユーザーの意見を取り入れながら刷新を繰り返し、より使いやすくしていく。費用を捻出できる手段が確保できれば、外注も視野に入れている。

⑤ 検討により明らかとなった課題

「相談先がわからない」「どこにどんなサービスがあるかわからない」といった困りごとに対応するために、相談支援体制の周知や機能強化も求められる。

これに関しては、行政機関及び相談支援専門員連絡会とも課題を共有し、当部会としてできる活動を継続したい。